

23 絶対主義 (2)

[神聖ローマ帝国 (ドイツ)]

諸侯の勢力強く
中央集権化すすまず

[ロシア絶対主義]

1500

ハプスブルク家

モスクワ大公国

【イヴァン3世】

1480 _____ = ハン国より自立

16世紀前半

カール5世 1519~56

宗教改革を弾圧
他国の王位を兼ねる
スペイン王, ナポリ王

1517 ルターの宗教改革 ★その背景を
発表

1519 ライプチヒ討論 ヨハン= エック

1521 _____ 国会 ★ルターの教義

1524 _____ 戦争 ★その性格

指導者 _____

1529 オスマン= トルコの _____, カール5世はルター派を承認

1529 シュパイエル国会でルター派を禁止

1530 _____ 同盟 ルター派

1546~47 シュマルカルデン戦争

ロシア帝国

【イヴァン4世 (雷帝)】 1533~84

農奴制の再強化

貴族をおさえ専制政治

1547 皇帝 (_____) を公称

ギリシア正教の首長

16世紀後半

1555 _____ の和議

① _____ ・帝国都市の信仰選択の自由を
認めた。但し _____ には認められず

② _____ 又は _____ 派のみ。

(カルヴァン派は認められない)

・ルター派は北ドイツ・ _____ に広まる

1581 コサック首長 _____ の征服
による _____ 進出

1600

17世紀前半

三十年戦争

1618 _____ の反乱 (発端)

性格 { 宗教戦争
皇帝と諸侯の対立
国際戦争化

皇帝側で _____ の活躍

新教側 { デンマーク王 クリスチャン4世 (ルター派)

スウェーデン王 _____ (ルター派)

フランス宰相 _____ (カトリック)

1648 _____ 条約 世界初の国際会議

①アウグスブルクの和議を再確認し, _____ 派も認める

②フランス・スウェーデンが領土獲得

③ _____, _____ の独立を承認

④ドイツ諸侯領 (領邦) の国家主権を承認

領邦国家体制 (諸侯が各々独立した国家主権をもち分立) 200余国

結果 { ハプスブルク家の敗北 (絶対主義的な統一に失敗)

・ _____ 帝国の有名無実化

ドイツの都市・農村の荒廃 (人口が3分の1に減少)

1699 カルロヴィッツ条約 (対トルコ)

ロマノフ朝 1613~1917

【ミハイル= ロマノフ】の即位

農奴制の強化

17世紀後半

1670 _____ の乱
~71 大規模な農奴反乱

1682 ピョートル1世 (大帝) 全盛期

・西欧化を推進 ・軍備拡大

1689 _____ 条約 ★内容

1696 _____ 海に進出 (南方)

1700 _____ 戦争 対 _____

_____ 海への出口確保
首都 _____ の建設

農奴制の強化

1700

[オーストリア絶対主義]

[プロイセン絶対主義]

18世紀前半

ハプスブルク家

オーストリア以外にも膨大な領土

【カール6世】 1711~40

ホーエンツォレルン家 ★由来

1701 プロイセン公国が王国となる

【フリードリヒ= ヴィルヘルム1世】

・プロイセン軍国主義の基礎

1740~80 マリア= テレジア 全盛期

1740 _____ 戦争 ★同盟関係

~48 アーヘンの和約

_____ 領を失う

★外交革命とは 1756 _____ 戦争

~63 _____ 条約

★その内容

1740~86 フリードリッヒ2世 全盛期

★啓蒙専制君主

“君主は _____ ”

ヴォルテール招く

サンスーシ宮殿

ユンカー (土地貴族) 基盤

1727 _____ 条約 ★内容

1728 ベーリング海峡到達

1741 アラスカ到達と領有

1762~96 エカチェリーナ2世 全盛期

_____ 君主

1773 _____ の乱 農奴反乱

南) _____ 半島, 黒海進出を実現

西) 3回の _____ 分割 ★経過

(1772--95) 普, 墺と共に

東) _____ の根室来航 (1792)

18世紀後半

【ヨーゼフ2世】 1765~90

・ _____ 君主として改革・挫折

1800

1600